

# キンカンにおけるアシノナピルの迅速分析法開発

## キンカン等で使用される農薬成分の迅速な分析法を開発

### 背景・目的

- 宮崎県における農産物の輸出額は、令和6年度で約12億6千万円となっており、年々増加傾向にあります。しかし、輸出における課題の一つとして、残留農薬の問題があります。
- 輸出の際、輸出先国から残留農薬分析の証明を求められることがあります。使用されている農薬の中には、県内で残留農薬の分析が困難なものもあります。
- 輸出された農産物が残留基準値を超えていた場合、農産物の積み戻しに費用がかかるだけでなく、国産農産物の安全性のイメージを損なってしまいます。
- 本県では、台湾向けの輸出拡大を図っている「キンカン」で使用される農薬について、迅速な分析法を開発しました。これにより、従来の分析法（公定法）よりも早く分析結果を知ることができ、出荷前に残留値を確認することができます。

### 成果の内容

- キンカンで使用される農薬成分アシノナピル（商品名：ダニオーテ）について、抽出および精製工程を簡略化し、迅速な残留農薬分析法を開発しました。これにより、従来の公定法と比較して分析時間を約25%短縮することができます。

表1 分析時間の比較

	公定法	迅速分析法
所要時間	約65分	約49分
内訳) 前処理	約53分	約35分
測定	12分	14分
公定法を100とした時の削減率		25%

### 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 開発した分析法は、県内分析機関の（一社）食の安全分析センター等に技術移転しており、県内農業者が分析を依頼できる体制の整備を図っています。

### 留意点

- 本分析法は、アシノナピル（その代謝物Cを含む）を分析対象成分としています（令和8年1月現在）。
- 本分析法は、液体クロマトグラフ質量分析計を使用しています。また、ろ過に使用するフィルターは、材質によって対象成分の吸着が起るため、事前に吸着性を確認する必要があります。

関連研究成果カード：2025年度整理番号23

関連事業名：輸出に対応した残留農薬分析技術の開発(県単)

研究期間：2025年度